

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

2014年度 第2四半期 決算説明資料

2014年10月29日

東芝テック株式会社

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算概要

- ✓ 14年度上期は、売上高・営業利益・経常利益・税引前利益がいずれも過去最高実績を上回る。
- ✓ 売上高・営業利益・純利益は概ね計画通りに着地。

- **売上高 2,563億円（対前年同期+147億円／106%）**

- ✓ 国内事業 消費税増税の影響が想定より小さく、対前同103%。
- ✓ 海外事業 プリンティング事業が堅調に推移、またリテール事業は1Qから2Qにかけて売上が回復した結果、対前同108%。

- **営業利益 122億円（対前年同期+16億円）**

- ✓ 主には国内事業や既存海外事業の増収、為替の影響等にともなう増益。
- ✓ EBITA(営業利益+のれん償却費)は145億円で、売上高比率は5.7%。

- **フリーキャッシュフロー 105億円（対前年同期+360億円）**

営業CFの改善や前同に実施したGCS事業対価の支払い減による大幅増加。

- **中間配当**

1株あたり6円(対前年同期+2円)を実施。

(参考)当社上期決算での過去最高実績

売上高2,518億円(07上)、営業利益106億円(13上)、経常利益98億円(13上)
税引前利益86億円(13上)、税引後利益65億円(97上)

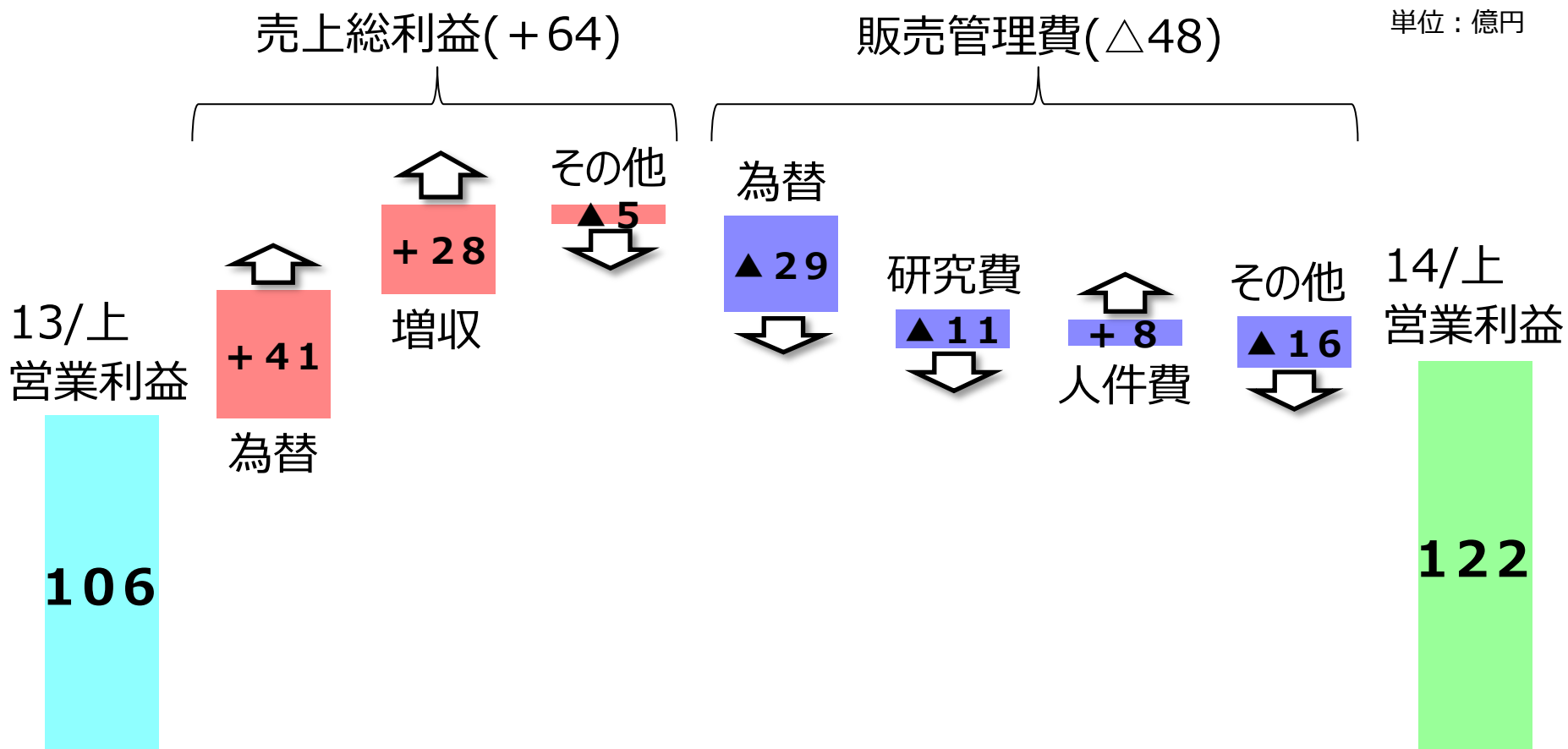
2014年度上期業績

単位：億円

	14年度 上期	13年度 上期	14年度 期初計画	差異	
				対13/上	対期初計画
売上高 伸長率%	2,563	2,416	2,500	147 106%	63 103%
営業利益 対売上高比率%	122 4.8%	106 4.4%	120 4.8%	16 0.4%	2 0.0%
経常利益 対売上高比率%	99 3.9%	97 4.0%	110 4.4%	2 -0.1%	△11 -0.5%
税引前利益 対売上高比率%	93 3.6%	86 3.6%	100 4.0%	7 0.0%	△7 -0.4%
当期純利益 対売上高比率%	51 2.0%	39 1.6%	50 2.0%	12 0.4%	1 0.0%
為替レート(円) US\$	102.52	98.03	100.00	4.49	2.52
EUR	139.10	128.29	138.00	10.81	1.10

営業利益の増減分析（2014年度上期）

- ✓ 増収、為替の影響等にもなう利益増。
- ✓ 為替の影響は+12億円。



セグメント情報(1) 2014年度上期業績

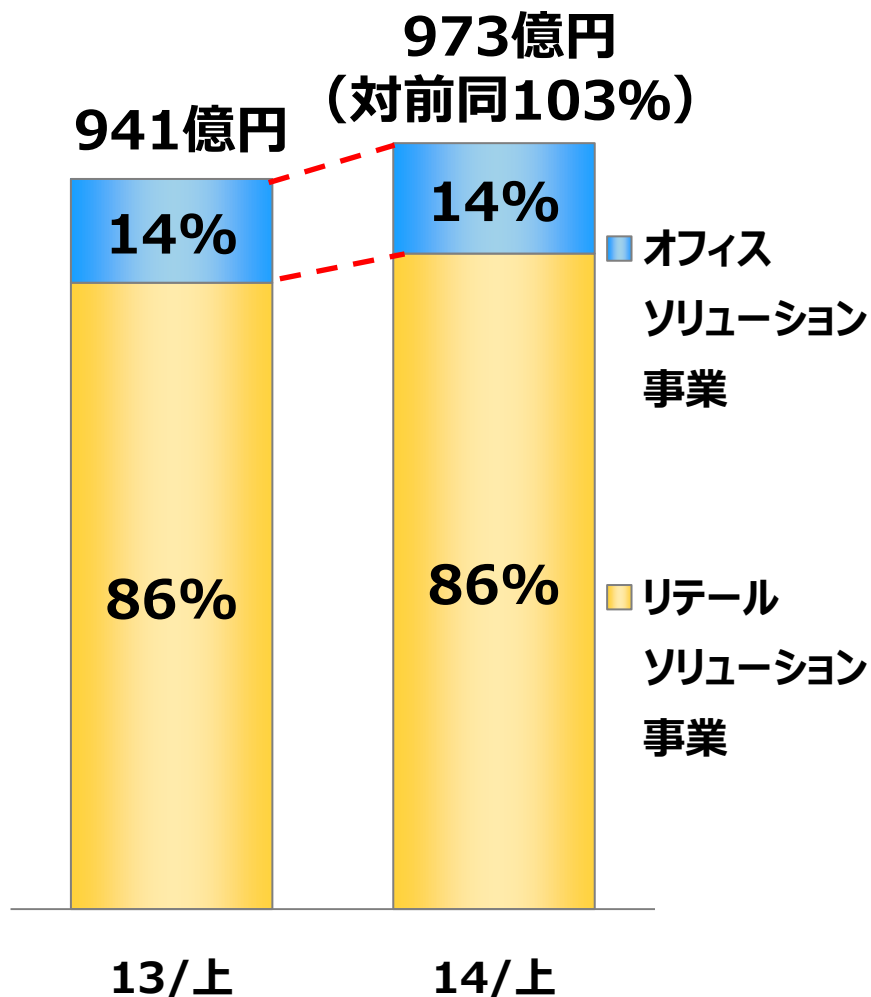
単位：億円

売上高	14年度 上期	13年度 上期	14年度 期初計画	差異	
				対13/上	対期初計画
システムソリューション	973	941	943	32	30
グローバルソリューション	1,660	1,542	1,632	118	28
計	2,633	2,483	2,575	150	58
部門間取引	△ 70	△ 67	△ 75	△ 3	5
連結計	2,563	2,416	2,500	147	63

営業利益	14年度 上期	13年度 上期	14年度 期初計画	差異	
				対13/上	対期初計画
システムソリューション	48	38	44	10	4
グローバルソリューション	74	68	76	6	△ 2
連結計	122	106	120	16	2

セグメント情報(2) システムソリューション

事業別売上高構成比



◆ リテールソリューション

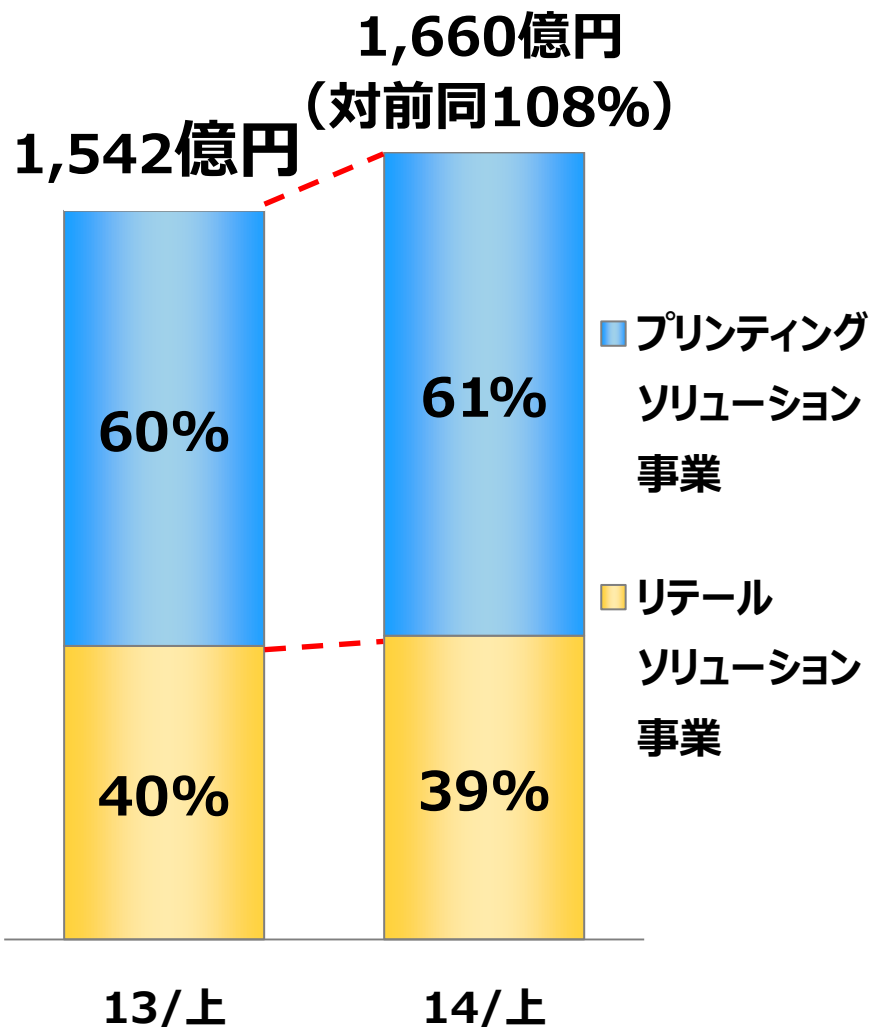
ショッピングセンター／専門店向けのPOSシステム関連の売上が好調で、売上拡大。前年同期比は103%。

◆ オフィスソリューション

主力カラーMFPの売上が好調に推移するとともに、新製品モノクロ機の販売も順調にスタート。前年同期比は105%。

セグメント情報(3) グローバルソリューション

事業別売上高構成比



◆ プリンティングソリューション

主力のカラーMFPの拡販、リテール顧客基盤を生かしたバーティカル市場(流通・物流・製造)への展開、為替の影響などにより増収。前年同期比は108%。

◆ リテールソリューション

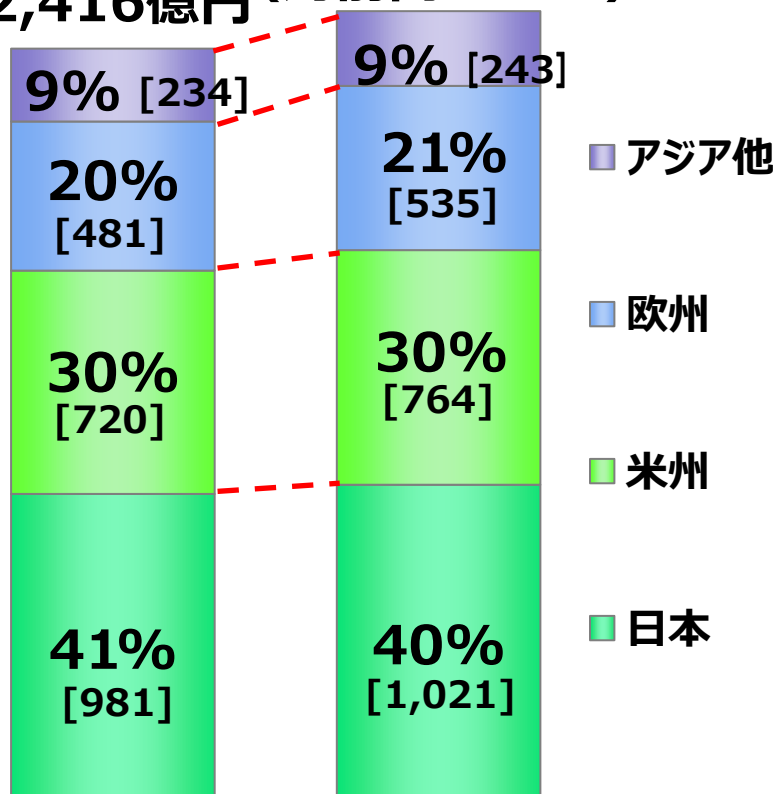
戦略的新製品(HW/ソリューション)の拡販、為替の影響などにより増収。前年同期比は107%。

仕向地別売上高

仕向地別売上高構成比

2,563億円

2,416億円 (対前同106%)



◆ 日本

リテールソリューション、オフィスソリューションともに堅調に推移し、対前同104%。

◆ 海外

リテールソリューション、プリンティングソリューションともに堅調に推移。各地域で為替の影響もあり、増収。対前同は米州で106%、欧州で111%、アジア他で104%。

13/上

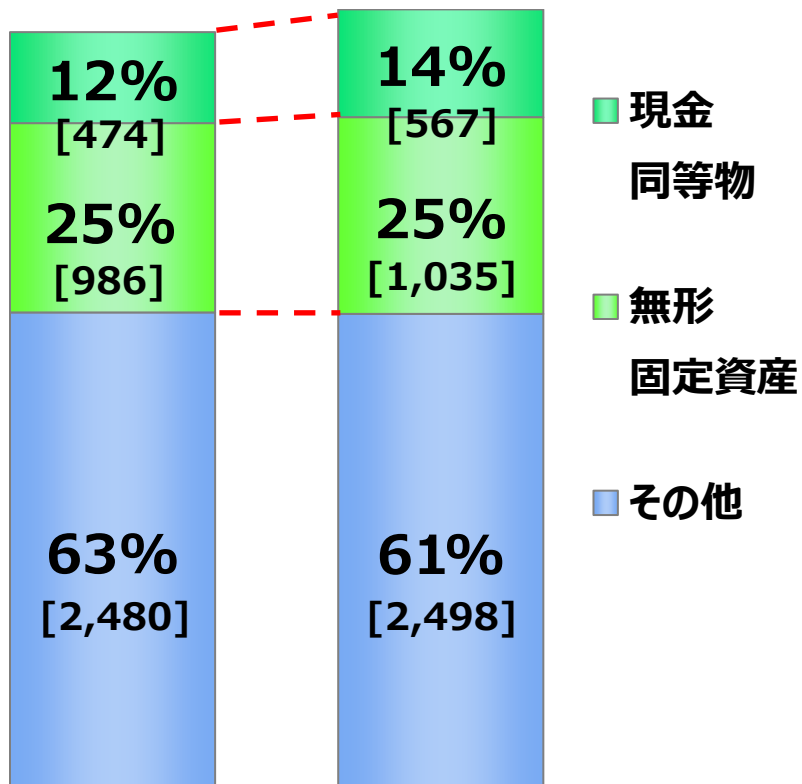
14/上

注. [] 内 仕向地別売上高 (単位: 億円)

貸借対照表(1)

資産の部

3,940億円 4,100億円
(対前年度末+160億円)



◆ 現金同等物

キャッシュフローの改善により93億円の増加。

◆ 無形固定資産

主にGCSのシステム関連での資産取得等により、49億円の増加。

14年3月末

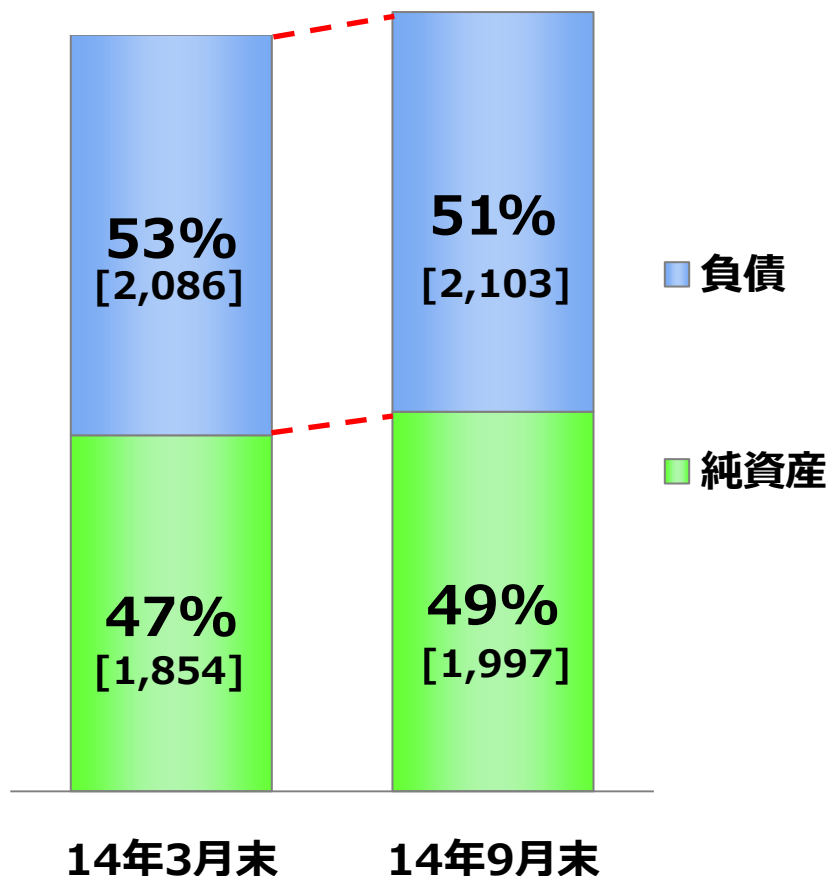
14年9月末

注. [] 内 科目別残高 (単位: 億円)

貸借対照表(2)

負債及び純資産の部

3,940億円 4,100億円
(対前年度末+160億円)



注. [] 内 科目別残高 (単位: 億円)

◆ 負債

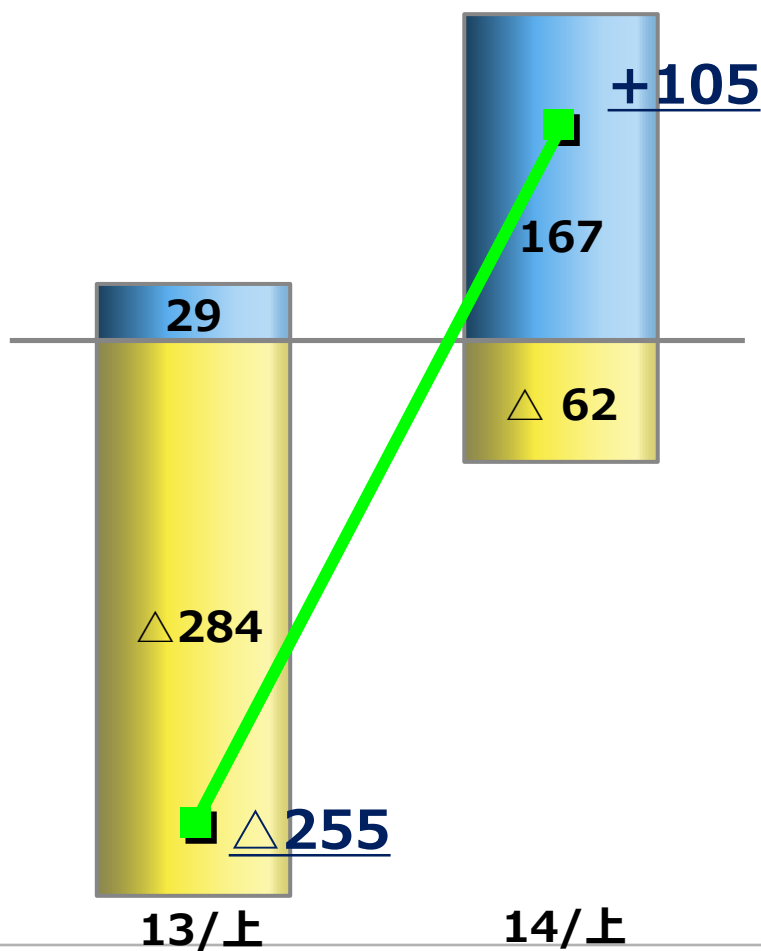
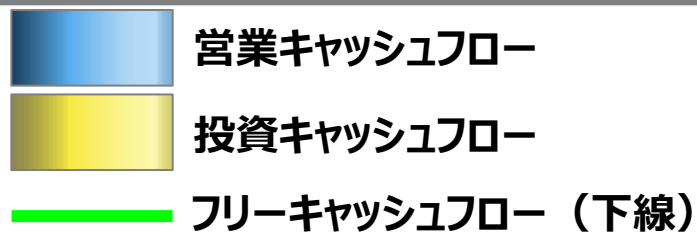
買掛金が62億円増加するも、退職給付会計の変更等にともない固定負債が65億円減少。全体では17億円の増加。

◆ 純資産

退職給付会計の変更にとまなう期首利益剰余金の増加、当期純利益および円安傾向にとまなう為替換算調整勘定の変動等により、143億円の増加。

キャッシュ・フロー

単位：億円



◆ 営業キャッシュフロー

運転資金の改善等により対前同138億円の増加。

◆ 投資キャッシュフロー

前同での事業譲受(GCS)にともなう対価(218億円)の支払い減等により対前同222億円の減少。

2014年度業績見通し

単位：億円

	14年度 見通し	13年度 実績	14年度 期初計画	差異	
				対13年度	対期初計画
売上高 伸長率%	5,200	4,989	5,200	211 104%	0 100%
営業利益 対売上高比率%	280 5.4%	231 4.6%	280 5.4%	49 0.8%	0 0.0%
経常利益 対売上高比率%	260 5.0%	201 4.0%	260 5.0%	59 1.0%	0 0.0%
当期純利益 対売上高比率%	120 2.3%	71 1.4%	120 2.3%	49 0.9%	0 0.0%
為替レート (円) US\$	105.00	99.75	100.00	5.25	5.00
EUR	138.00	133.37	138.00	4.63	0.00

セグメント情報 2014年度業績見通し

単位：億円

売上高	14年度 見通し	13年度 実績	14年度 期初計画	差異	
				対13年度	対期初計画
システムソリューション	1,950	1,953	1,950	△ 3	0
グローバルソリューション	3,400	3,175	3,400	225	0
計	5,350	5,128	5,350	222	0
部門間取引	△ 150	△ 139	△ 150	△ 11	0
連結計	5,200	4,989	5,200	211	0

営業利益	14年度 見通し	13年度 実績	14年度 期初計画	差異	
				対13年度	対期初計画
システムソリューション	110	97	110	13	0
グローバルソリューション	170	134	170	36	0
連結計	280	231	280	49	0

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝テック株式会社